

只見町の少年教育

只見町教育委員会



おはよう体力づくり(朝日公民館主催)

一、はじめに

「豊かで、住みやすく、文化の香り高い、きれいな自然の、魅力ある町」を将来像とする只見町の社会教育は、昭和四十八年三月に策定され、昭和四十八年度から昭和六十年年度までを計画期間とする「新只見町振興計画」に基づき、昭和五十四年度を中間年度として、三年間ローリング方式による振興計画を策定してすすめられている。ここでは、第二次(昭和五十一年～五十三年度)の少年教育振興施策と、その実施概要等についてのべることにする。

二、第二次少年教育振興重点施策

昭和五十年年度末、町社会教育委員会町内小中学校長会、町青少年問題協議

会等の意見、関係職員の反省に基づき

少年の身体的活動への関心や知識欲、冒険心等を高め、自発性に基づく多面的活動を多く取り入れ、特に、仲間との集団活動を通じて、家庭や学校では期待しにくい体験をえさせ、その成長発達を促すよう、つぎの施策を重点とし、その実現につとめている。

① 自発的活動の促進と条件の整備
② 地域少年の実態のは握と少年教育体系の確立

③ 少年に対する社会的関心の高揚と育成組織の拡充

④ 少年団体への加入促進と健全育成

⑤ 組織内リーダー並びに民間有志指導者の発掘と養成

⑥ 関係機関・団体等との連携の強化

表1 昭和53年度 少年教育事業計画表

実施機関	事業等の名称	対象	期日・期間	場所	事業費	備考
教育委員会	・少年宿泊研修	・町内の小学6年生101人、中学2年生148人、計249人	8月8日～9日(1泊2日)	町青少年旅行村、他	(千円)425	・4年目50年度-46人 51年度-50人 52年度-268人
	・育成指導者養成	・有志指導者(高校生～)	年 間	各関係施設等	200	・年次計画による
	・第8回只見町文化祭参加	・町内、小、中学生	11月3日～5日	只見公民館他	1,000	・第1回発明工夫展 ・書画展
	・第2回只見町文芸コンクール	・小学4年生～	12月～3月		107	・児童生徒文芸コンクール(13回)の発展 ・作品集の発行
公民館	・スポーツ少年団の育成	・フスポーツ少年団	年 間	関係施設等	150	・加盟団体数4 ・加入少年数210人
	・ガキ大将教室	・只見学5～6年生の希望者50人	6月～2月	只見公民館他	100	・県費補助40,000円(新)
	・母子の公民館活動	・朝日地区内読書グループ、4組延100人	6月～3月	朝日公民館 部落公民館他	700	・補助200,000円(あづま号と関連)
	・各種学級、教室、講座、講習会等開催	・青年、一般成人	年 間	各公民館他	2,133	・各学級、教室等の学習内容として家庭教育に関する内容を2時間以上含む
民館	・おはようサイクリング	・小学生以上～	6月～8月	只見公民館特設コース	10	・小学生の参加が多い
	・あるけあるけ大会	・一般	7月～8月	〃	10	
	・早起き少年少女球技大会	・小中学生	7月～8月	各公民館の指定施設	30	・男子…ソフトボール ・女子…バレーボール ・ボートボール
	・おはよう体力づくり	・小学生～青年	6月～9月	朝日公民館特設コース	10	・体操とマラソン
	・各種スポーツ教室	・一般	9月～11月	各関係施設	40	・テニス・バドミントン ・野球・卓球・スキー

事業について、ややくわしく述べる程

「少年宿泊研修」と「ガキ大将教室」

四、昭和五十三年度事業計画の概要

前記目標の達成をめざし、今年度は表1のような事業を計画、実施しているところであるが、紙面の関係で以下

一、昭和五十三年度少年教育重点目標

① 少年の関係施設利用の促進

② 少年団体への加入促進

③ 「ガキ大将」の育成と団体の自発的活動の奨励

④ 少年に対する社会的関心の高揚と家庭教育の充実

⑤ 民間有志指導者の発掘・計画的養成と確保